

【参考】「第2の開港」を契機とした成田空港の戦略的な活用に向けた提言（概要）

自由民主党成田国際空港推進議員連盟
成田国際空港を拠点とした産業基盤強化PT

【背景】

- 成田空港及びその周辺地域は、滑走路の新增設をはじめ様々なプロジェクトが並行して進捗する、極めて重要な局面を迎えている。
- 産業競争力の戦略的強化には、空港機能活用や周辺開発等を通じ、海外の活発な経済活動を取り込み、国際航空物流拠点形成や産業集積につなげる必要。
- その際、首都圏空港においては、「第2の開港」により年間発着容量が50万回に拡大する成田空港は極めて重要な役割を担う。

- 国際航空物流拠点形成・成田空港を核とした産業集積
 - 鉄道アクセス強化・広域道路ネットワーク整備の早期実現
- 国の主導による取組の推進・促進が必要

成田空港に関するプロジェクトにおいて国が果たすべき役割

- 成田空港は我が国最大の貿易港・訪日外国人の最大のゲートウェイ → その活用は、全国各地の地方創生・我が国の産業競争力強化の観点から重要
- 仁川空港をはじめとする海外空港 → 公的セクターが主体となった物流・産業拠点形成（国の関与は共通）、空港アクセス高度化が既に実現
- 成田空港及び周辺地域を産業政策上、適切に位置づけ、戦略的に活用する視点を持つべき。
- 地方送客拠点への鉄道アクセス強化や、全国各地の産業拠点や羽田空港と成田空港とを結ぶ広域道路ネットワーク整備に一層取り組むことが重要。
- 関係省庁・部局間の連携を可能とする体制を速やかに構築するべき。各取組の進捗状況等に応じ、体制の在り方について継続的に検討を深めるべき。

当面の間推進すべき事項

国際航空物流拠点機能の更なる強化

- 新貨物地区と隣接地の総合保税地域化に向けた協議の着実な進捗
- 空港外の航空物流人材確保に向けた国家戦略特区の特例の積極的活用 等
- 成田羽田の一体的運用に向け、貨物搬送の自動化を視野に入れた自動物流道路の社会実装に向けた取組、両空港間の貨物往来の円滑化等に向けた方策の検討
- データ・貨物外装等の標準化に向けた取組について、荷主等の幅広い関係者による参画につながる仕組みの創設

成田空港を核とした農林水産物の輸出拠点化

- 出荷体制の効率化等による輸出産地形成や全国の産地から成田市場・成田空港へ直結する戦略的な輸出物流ネットワーク構築への支援
- 輸出生鮮品の品質保持に向けた、空港貨物地区内における温度管理環境整備によるコールドチェーン確立及び成田市場と成田空港のアクセス改善等によるリードタイム短縮に向けた検討

成田空港を核とした産業集積に向けた取組

- 航空機エンジン用大型試運転施設の導入支援予算の活用等による事業者の一層の関与の促進や、航空機整備産業の集積に向けた取組の加速
- 地元自治体の取組への支援をはじめ、産業集積に有効な施策の検討
- 地域未来投資促進法等の制度見直しによる産業用地確保に向けた取組
- 成田空港周辺地域における都市再生緊急整備地域の指定に向けた検討の加速

空港アクセスの強化

- 鉄道アクセス強化の早期実現に向けた、国際観光旅客税の活用も含めた財源確保や関係者間での検討・調整などの取組
- シームレスで機能的な道路ネットワークの構築（北千葉道路及び新湾岸道路の整備加速、合理的な経路選択を促す料金水準の整理・統一とその利用者負担の整備加速への活用、圏央道の4車線化及び東京湾アクアラインの6車線化の早期具体化、生活道路を含む機能的な道路網の整備等）

中長期的な検討事項

- 計画的な産業拠点形成に向けて、成田空港周辺での公的セクターによる土地所有、自治体等への支援にとどまらない国の主導による産業用地整備
- 企業誘致の実現を図るため、成田空港周辺地域を対象とした税制・関税面における特例措置などの新たなインセンティブの導入